

道北の山 天塩岳 (1558m)

登山日：令和元年9月14日(土)

参加者：藤木(晴)総リーダー、A班リーダー相馬、サブ
内山・酒井、B班リーダー藤木(た)、サブ近藤、八
重樫、太田、門馬、佐藤、笹山、増川、川村、森
永
小笠原、…・15名

行程：ヒュッテ発；9時10分、連絡路分岐；9時
47分、新道分岐；11時、丸山(1433m)；12
時10分、避難小屋；12時35分、天塩岳頂上；
12時42分、発；13時0分、西天塩岳に9名、
避難小屋発；14時30分、丸山；14時50分、新
道分岐；

15時10分、連絡路；16時06分、ヒュッテ；17時
10分、

15日(日)は雨天の予報の為、総リーダーの判断で岡
志別集合発を4時間早め、午前4時とした。

車3台に12名が分乗、途中Kさんを拾い、苫小牧西
インターで車1台と2名が加わり高速で一路比布jctに車
を駆る。旭川紋別道を愛別で降り、道道101(愛別～
下川線)を北に取り、途中から天塩ヒュッテ行き林道
を走り、ヒュッテに8時50分に到着、二階を独占。

今晚の宿です。車数台駐車。



登山準備を終え、9時10分、A班を先頭に登山開始。
今の所今日一日天気は持ちそう、一安心。

B班の精鋭ですよ。



丸太仮設橋を慎重に渉る。



40分掛からず連絡路に9時47分に到着、左は前天塩
岳経由の道と、沢沿いの旧道の分岐点、我々は右の連
絡道を採用。



連絡路の急こう配道を喘ぎながら緩づくりペースで
登る、A班のペースには追い付かない。

新道分岐に11時到着、1時間10分掛かった。

リタイヤ者2名、新道を下り帰ヒュッテへ。

少し急登を登ると視界が開け、一息つく。



東前方に前天塩岳の雄々しい姿が望めた。



12時10分丸山（1433m）に到着、展望が良い。
避難小屋に12時35分到着、大休止。



当初避難小屋までを目標にしたが、全員天塩岳に挑戦、
小湿原をとり、石屑の登山道をジグを切って登る、
頂上近くは強風（15m位か）が吹き、飛ばされ相、
天塩岳の雄姿



12時42分、天塩岳（1558m）に立つ。



展望の良い山だが、風が強くゆっくり周囲の眺望を楽しむ余裕がない、写真を撮りそそくさと下山する、時間制限で全員来た道を引き返す。下山13時、西天塩岳に9名が挑戦、避難小屋発14時30分、丸山経由新道分岐15時10分、連絡路を引き返し、ヒュッテ到着17時10分、沢沿いは夕暮れが迫る。お疲れさん。

2階の畳敷の大部屋はストーブが焚いてあり暖かく、茸料理、肉野菜煮込みのご馳走を先の下山者が作ってくれており、感謝感謝。総リーダーの音頭で完登を祝して乾杯、美味しい料理とつまみを肴に遅くまで山談義で盛り上げる、明日は6時起床。

9月15日（日）、朝方小雨、夜中には強い雨か。

今日は観光を兼ねて普通の道をゆっくり帰る。

愛別の協和温泉に早朝8時に入浴、至福の一時を過ごす、当麻、深川の道の駅に立ち寄り、砂川市の菓子屋北菓楼にて土産を買う。砂川のオアシスで昼食を摂り追分道の駅で解散。二日間皆さん大変お世話になり、感謝いたします。沼ノ端インターから高速、登別東で下車、16時40分に帰宅、長時間運転された方、会計さん、リーダー各位に感謝します。

記 IK